土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　山崎地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量調査設計業務委託

事業名 または 工事名　山崎地区　急傾斜地崩壊対策事業

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	Bor. No. 1	**調査位置**	広島県山県郡安芸太田町大字中筒賀地内			**北緯**	34° 34′ 16.26″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			**調査期間**	2023年　1月　16日 ～ 2023年　1月　18日	**東経**	132° 16′ 0.81″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 247.35m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 40°	**使用機種**	**試錐機**	DO-D（東邦地下工機）
総削孔長	9.00m								**エンジン**	NFD-9（ヤンマー）	**ポンプ**	BG-3C（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1				礫混りシルト混り砂		暗褐	rd1			細粒分を含む中～粗砂の混合砂。φ2～5mmの角礫を混入する。2m付近に根の腐植物を混入する。含水中。	01/16 1.08	0 10 20 30 40 50	1	1.15	1	1		2							
2														1.59	230	210		440								
3	244.45	2.90											3	2.15	1	1	1	3								
4				砂礫		暗褐～褐	rd2			φ5～10mmの角礫主体。マトリックスは中～粗砂の混合砂で占められる。3.5～3.9mでは少量の細粒分を混入する。礫は花崗岩。含水小。				2.45				300								
5	242.90	4.45												3.15	1	1	2	4								
6											01/18 4.61			3.45				300								
														4.15	1	2	3	6								
														4.45				300								
				強風化花崗岩		暗褐～明灰	rd5			コアは粗砂～礫状主体。岩構造は明瞭に残すも芯部まで風化が進行する。DM～DH級			65	5.15	17	22	11	50	230							1/16
														5.38			30	230								
											01/19 5.86			6.00	貫入不能			50	0							
7														6.00												
														7.00	貫入不能			50	0							1/17
8														7.00												
														8.00	貫入不能			50	0							
	238.35	9.00		風化花崗岩		明灰	rd5			コア長20cm程度の長柱状主体。亀裂は20°以下の低角度主体。一部風化が進行し、亀裂面に土砂を挟在する。ハンマーの打撃にて容易に折れ、岩質はやや脆い。CL～CM級				8.00												1/18
														9.00	貫入不能			50	0							
														9.00												